

設問1

医療法について、誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	医療提供体制の基本となる法律であり、1948年に制定された。
A2	医療法に定める医療の内容には、リハビリテーションも含まれる。
A3	医療法に定める医療の内容には、疾病の予防は含まれない。
A4	医療法に定める医療提供の場として、居宅も含まれる。
A5	国民自らの健康の保持増進のための努力を基礎としている。

正解 A3

医療法第一条の二において、医療の内容は治療だけではなく、疾病の予防、福祉との連携、リハビリテーションを含む包括的な医療提供が求められる事が明記されている。

設問2

精神障害者に関する法体系について、誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	1950年に制定された精神衛生法では、入院医療が中心であった。
A2	1987年に制定された精神保健法では、精神医療における患者の人権に配慮し、社会復帰を目指す方向へと転換した。
A3	障害者基本法では、精神障害者は「障害者」として法律で明確に位置づけられた。
A4	2002年の精神保健福祉法の改正によって、社会復帰関連事業を国が実施主体として提供することとなった。
A5	精神障害者保健福祉手帳について、精神障害者の「自立と社会参加の促進」を図ることを目的としている。

正解 A4

2002年の精神保健福祉法の改正によって、社会復帰関連事業は市町村が実施主体として提供することとなった。

設問3

障害者に関する法体系について、誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	2006年に施行された障害者自立支援法は、身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法・児童福祉法の4つの法律が一元化されたものである。
A2	2013年に「障害者自立支援法」は、障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するため、「障害者総合支援法」に改正された。
A3	障害者総合支援法における障害支援区分は、「1～6および非該当」で判定される。
A4	障害福祉サービスの利用者負担は原則1割となっているが、低所得者に対する軽減措置が設けられている。
A5	障害者総合支援法の対象となる難病等の範囲は130疾病である。

正解 A5

障害者総合支援法の対象となる難病等の範囲は130疾病である。

設問4

介護保険法について、誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	介護保険法に定める国民の努力および義務について、「要介護状態となった場合でも、進んでリハビリテーションその他の適切な保健・医療・福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるもの」とされている。
A2	指定居宅介護支援事業者は、自らその提供する指定居宅介護支援の質の評価を行い、常にその改善を図らなければならない。
A3	介護保険法における認定区分は「要支援1～2、要介護3～5および非該当」の6段階で判定される。
A4	介護認定審査会は、保険・医療・福祉の学識経験者より構成され、高齢者の心身の状況調査及び主治医意見書に基づくコンピュータ判定の結果と主治医意見書等に基づき審査判定を行う。
A5	介護支援専門員の職務として、居宅サービス計画の原案の内容について、利用者等に説明し、文書により利用者の同意を得なければならない。

正解 A3

介護保険法における認定区分は「要支援1～2、要介護1～5および非該当」の8段階で判定される。

設問5

関連職種の資格法について、誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	保健師助産師看護師法において看護師とは、厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者若しくはじよく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう。
A2	保健師助産師看護師法において、准看護師になろうとする者は、准看護師試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受けなければならない。
A3	言語聴覚士法において、言語聴覚士は、保健師助産師看護師法の規定にかかわらず、診療の補助として、医師又は歯科医師の指示の下に、嚥下訓練、人工内耳の調整その他厚生労働省令で定める行為を行うことを業とすることができる。
A4	歯科衛生士法において、歯科衛生士になろうとする者は、歯科衛生士国家試験に合格し、厚生労働大臣の歯科衛生士免許を受けなければならない。
A5	薬剤師法において、薬剤師の任務は、「調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するもの」とされている。

正解 A2

准看護師になろうとする者は、准看護師試験に合格し、都道府県知事の免許を受けなければならない。